

## 新型コロナウイルス感染症対応にかかる要望書

新型コロナウイルスの感染症は世界に広がり、罹患者は日を追うごとに増え続けております。世界保健機関（WHO）が「パンデミック」の状態と認定する事態に至り、終息の目処はまったく見えておりません。群馬県内でも感染者が確認され、院内感染を疑わせる事例も発生、残念なことです。亡くなる方も出ています。多くの県民は感染におびえる日々を過ごしております。

今回の感染症は、まさに政治が国民を守れるかを問われる緊急事態であります。政府は学校の休校を都道府県に要請し、「密閉空間」「人が集まる状況」「近距離での会話」などが重なるケースに感染リスクが高まることを周知するなど、適切な対応を続けておられることに敬意を表する次第であります。

しかしながら、群馬県内においては観光業、飲食業、小売業、建設業、農林畜産業などを営む皆さんが大きな痛手を受けております。感染症の終息が見極められない中、「今後」への不安が限りなく高まっております。

群馬県連は新型コロナウイルス感染症防止対策本部を立ち上げ、協力団体などに「現状の課題」と「将来の要望」を聞き取り、まとめました。

つきましては、感染症拡大の防止はもとより、経済政策の充実のため次の事項について必要な措置を講じられるよう強く要望いたします。

### 記

- ・マスク、消毒液など衛生品、医療品の安定供給
- ・風評被害の払拭に向けて信頼できる正確な情報の発信
- ・医療機関の危機管理対策とワクチン開発等の感染予防の早期構築
- ・PCR検査態勢の強化と感染状況の早期把握
- ・休業や失業により収入が減少となった生活弱者への手当て支給
- ・休校やイベントの自粛による損失への救済措置と需要の喚起
- ・影響を受けている全ての中小企業及び小規模事業者への金融支援
- ・輸入品に依存する資材不足への早期対応と納期及び工期の柔軟化
- ・農林畜産業等の技能実習生等の速やかな受け入れと経済的支援
- ・税制や公共料金等の負担軽減策の検討と家庭生活への支援

令和2年3月25日

自由民主党「群馬県議会議員」団

群馬県知事

山本 一太 殿